

# What's New?

(財)東京市町村自治調査会は、東京都全市町村の総意によって設立され、多摩・島しょ地域における広域的課題や共通課題の調査研究、情報提供、多摩地域の広域的市民ネットワーク活動に対する支援などを行っています。

No.275

## 調査報告書をご活用ください!

### ～自治調査会では幅広い分野の調査・研究を行っています～

自治調査会では、昭和61年の設立以来200件を超える調査・研究報告書を発行してきました。

平成22年11月から23年3月までに発行しました調査研究報告書(①を除く。)については、自治調査会に在庫があります。また、自治調査会ホームページ(<http://www.tama-100.or.jp/>)からダウンロードすることも可能です。

なお、それ以前に発行した報告書については、各市町村の情報コーナー、図書館または自治調査会資料室でご覧ください。

※一部は自治調査会ホームページでもご覧になれます。

#### ①住民の声を活かした自治体の経営改革 についての調査研究報告書

膨大な数の住民の声(クレーム)の中から、価値あるクレームを選別し、組織内部で消化吸収して経営改革にまで結び付ける方法を研究しました。



#### ②図書館のあり方に関する 調査研究報告書

社会制度の変化や住民のライフスタイルの多様化、情報媒体の多様化などの状況の変化の中で望まれる図書館のあり方を提示しました。



#### ③墓地と市町村との関わりに関する 調査研究報告書

10～15年後に到来が予想される「墓地不足社会」に備え、多摩地域の市町村が墓地問題とどのように関わっていくべきかをまとめました。



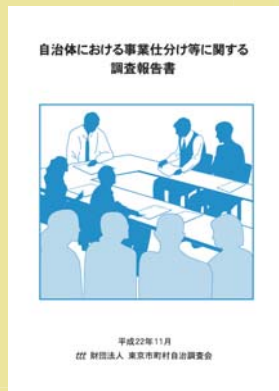
#### ④人口減少期における多摩地域の 「縮む」未来図

10年後、20年後の人口減少と高齢社会の姿を明らかにすることを目的に、各種市町村別統計等を分析して多摩地域の未来図を描きました。



### ⑤自治体における事業仕分け等に関する調査報告書

事業仕分け等の実施自治体の取組状況を把握・分析し、自治体にとって「事業仕分け等を実施するか否かの判断材料」、「事業仕分けを実施する際の参考資料」となるようまとめました。



### ⑥水産資源の活用及び保護に関する調査報告書

「単独の基礎的自治体で取り組めること」をコンセプトに、水産業の振興及び地域活性化の方策を提言しました。



### ⑦市町村の生物多様性地域戦略策定に向けた提言

「生物多様性」の保全及び持続可能な利用に関して、先行する戦略の策定実態や未策定の市町村の意向等を分析し、市町村が生物多様性地域戦略を策定する際の考え方や具体的な手法を提言しました。



### ⑧多摩地域データブック (多摩地域主要統計表) —2010(平成22)年版—

今後のまちづくりや政策形成など行政運営上の基礎資料として、人口、土地、産業、都市基盤など主要な統計データ集を作成しました。

### ⑨市町村財政力分析指標 (平成12年度から 平成21年度まで)

市町村における財政運営の健全化を図るための比較検討の素材として、財政力指数、経常収支比率など計11の分析指標を掲載しています。

### ⑩市町村税政参考資料 (平成12年度から 平成21年度まで)

主要税目である市町村民税などの調停収入状況等のデータ集を作成しました。



報告書に関するお問合せは  
調査部 (Tel.042-382-7722)  
までお願いします。

## 多摩交流センター

## TAMA市民塾

## 10月開講 塾生募集案内

多摩交流センターでは、広域的市民ネットワーク活動の支援、市民交流の場の提供等を目的とし、市民による生涯学習講座(TAMA市民塾)を実施しています。

市民塾は、講師を公募し、講師が提案するテーマを市民スタッフが選択・企画・運営をしています。

現在、10月開講の17講座の塾生を募集しています。講座は5か月(10回)と10か月(10回、20回)のコースがあります。詳細は多摩交流センターホームページ(<http://www.tama-100.or.jp/tama/>)をご覧ください。

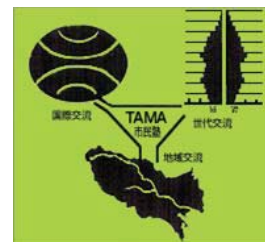
●開講期間 5か月コース:平成23年10月～平成24年2月

10か月コース:平成23年10月～平成24年7月

●会場 多摩交流センター(府中駅下車徒歩3分)ほか

●主催 TAMA市民塾

●共催 (助)東京市町村自治調査会 多摩交流センター



No.	講座名・講師名	講座内容	回数・曜日・時間・定員
1	演劇で自分自身を思い切って変えよう 清水 昇	演劇における基本のセリフを喋る、喋りながら動くという事をまずやります。役になり切る為の、集中力や肉体の開放を常に講座の中心活動とします。殺陣・立ち回りなどを、棒を使って集団で動き、時代劇の楽しさも味わってもらいます。時間いっぱい、全員で汗を流し演劇を楽しみます。 (教材費200円～300円位)	5ヶ月コース 毎月2回・全10回 第1・3月曜日 (第1回は10/3) 10:00～12:00 (25名)
2	中国花鳥画入門 水墨画と 中国文化事情 劉 偉	中国水墨花鳥画は墨と水が作り出すハーモニー。この機会に楽しみながら学んでみませんか。中国各地のめずらしい健康茶(羅漢果、甜茶など)を飲んだり、音楽(古琴)を聴きながら四季の花や鳥、虫やパンダなど基本的なかき方を学び、五感を使った講座を一緒に作っていきましょう。	10ヶ月コース 毎月2回・全20回 第1・3月曜日 (第1回は10/3) 14:00～16:00 (24名)
3	声に出して 古事記(神話)を 読みましょう 五所 愛子	古事記成立1300年で注目の気配がうれしい。神話は内容がおもしろい。時代に曲げられて教えられたりしたが、その陰を知らない世代が多くなっている。文章は簡潔、表現は率直、筋は明晰、リズム感にあふれている。神々は素朴で人間くさく、絡みの進展に頼は緩みっぱなし。声に出して読むおもしろさに魅せられて、古事記の奥の深さを探りたい。 (教材代500円)	10ヶ月コース 毎月2回・全20回 第1・3火曜日 (第1回は10/4) 14:00～16:00 (30名)
4	パッチワーク・キルト 高橋 美恵子	パッチワーク・キルトの発展の礎ともなった「物を大切に作る心」を持って、新しい布ばかりでなく、着なくなった服等も再利用し、小物・バック・タペストリー等を作ります。針仕事を通して、作品が完成した時の達成感、そしてそれを使う楽しみ……皆さんに味わっていただきたいと思います。 (基本教材初回作品代500円)	10ヶ月コース 毎月2回・全20回 第2・4火曜日 (第1回は10/11) 10:00～12:00 (20名)
5	アイロンで染められる 「山の幸染め」 中川 梅子	アイロンで木の葉の押花等を使って、葉脈まできれいに染められます。染料は紙状で切ったりちぎったりと手法は50種類以上あり、色々な染めが楽しめます。水は使わない為手や洋服を汚さず、洗っても色落ちせず、生地 of 風合も変わりません。(生地はポリエステル60%以上)巾着や手さげ等8作品が作れます。 (教材費全回分3,150円)	5ヶ月コース 毎月2回・全10回 第2・4火曜日 (第1回は10/11) 14:00～16:00 (20名)



No.	講座名・講師名	講座内容	回数・曜日・時間・定員
6	植物の学名を 読み解く ーリンネの二名法ー 田中 學	リンネによって提唱・実践された二名法による学名表記は現在も引き継がれています。学名は世界共通の学術公用語で、地球上の全ての生き物の命名にその命名法は適用されるものです。スライド投影により植物学名の実例を挙げて、その表記法と意味を解いていきます。野外観察会も加え、植物学名への理解を楽しく深めます。 (交通費、入園料は各自負担)	5ヶ月コース 毎月2回・全10回 第2・4水曜日 (第1回は10/12) 14:00~16:00 (30名)
7	フランス語を学び ながら パリを文化探訪 臺 淳子	簡単な日常表現をまず耳から覚え、音やリズムを聞き分けてフランス語らしい発音にチャレンジ!基礎となる文法もグループワークでしっかりマスター。土台が無理なく作られるよう、ゆったり&興味わくモードのフランス語・フランス文化入門講座です。毎回カルチャーの話題に加え、現代のフランス社会についてのトピックスもレッスンに織り込まれます。 (教材「まるごと覚えようスタンダード40-フランス語」1,365円)	10ヶ月コース 毎月2回・全20回 第1・3木曜日 (第1回は10/6) 14:00~16:00 (25名)
8	日本語の意外性 ~話す・聞く・書く~ 梅林 義雄	人は不自由なく言語生活を送っています。それでいいのです。でも学校で学ばなかったユニークな視点で日本語を見直してみましょう。「オヤッ!」と思うことを発見するでしょう。難しい複雑な日本語。しかし何とすばらしい美しい言語であることが。世界一の言語=日本語の奥義にふれて感動してみるのはいかがでしょう。	10ヶ月コース 毎月1回・全10回 第2木曜日 (第1回は10/13) 10:00~12:00 (30名)
9	歴史散歩/ 戦國の城を歩く 小原 精壽	埋もれた古城は歩いた人にしき味わえない楽しみがあります。建物が一つもない城址にも人の心を捉えてやまない美しさです。城の多くは乱世の戦國時代に築かれました。本講座では城址から感じる癒しや美しさはどこから来るのか、堀や土塁などの遺産を通して戦國テクノロジーに触れてみようと思います。 (交通費・拝観料等は各自負担)	10ヶ月コース 毎月1回・全10回 第1金曜日 (第1回は10/7) 10:00~12:00 (30名)
10	お煎茶を通して 身につけ学ぶこと 斉藤 祥子	茶道というと、抹茶のことを想像されると思いますが、私達が日常の生活に欠くことなく飲んでいるのは「煎茶」です。何気なく飲んでいるお茶は形式的な事より「いかにおいしいお茶をいれたらよいか」という心配りに尽きます。それは水、湯かげん、茶葉、間あい、器です。これら調和した煎茶のお点前にも挑戦してみませんか。 (菓子代等全1,000円)	10ヶ月コース 毎月1回・全10回 第1金曜日 (第1回は10/7) 14:00~16:00 (20名)
11	視覚を変え国際的 な見方を学習 しませんか 木村 稔	目覚ましいデジタル技術の進化が全世界を国際化へ増進する今日、旧来からの鎖国的常識は通用しない新時代を迎え生活感覚は寛容な異文化認識が必要不可欠に変わりました。身近な所から視覚を広げる訓練をすると新発見やグチとクヨクヨから解放され広い世界と明るく交流する学習をしませんか?思込みの過去を一掃します。	10ヶ月コース 毎月1回・全10回 第1土曜日 (第1回は10/1) 10:00~12:00 (30名)
12	山に行き エッセイを書こう 小林 理樹	自然と触れあい、そのときの印象を文章にしてみましょう。そこから湧いてくる人生への思いを綴るのもよいでしょう。講座の第2回(11月12日、高尾山)と第6回(3月10日、陣馬山)はハイキングに行き、その体験を基に800字程度のエッセイの制作を実習します。また、名作の鑑賞も行います。 (ハイキング時の交通費は各自負担)	10ヶ月コース 毎月1回・全10回 第2土曜日 (第1回は10/8) 10:00~12:00 (20名)
13	スポーツ吹矢 荒木 諭	近頃、マスコミで取り上げられ、健康法としてシニア層を中心に人気の出ている「スポーツ吹矢」は手軽に楽しめる“楽しく・健康に・安全に”を主眼にした室内スポーツです。「腹式呼吸法」と正しい姿勢により全身を活性化させます。思いきり息を吹き、矢を的に命中させた時の爽快感はストレス解消にもなります。 (消耗品代・その他全回分2,000円)	10ヶ月コース 毎月2回・全20回 第2・4土曜日 (第1回は10/8) 14:00~16:00 (24名)

No.	講座名・講師名	講座内容	回数・曜日・時間・定員
14	初心者のための 楽しいウクレレ教室 林 輝雄	譜面が全く苦手で読めない方の初心者向け教室です。ハワイアンや色々な音楽(南国の夜♪ふるさと♪聖夜)にも挑戦し、ウクレレでリズムを弾きながら歌の練習。近年非常に人気のあるウクレレでメロディを弾く練習で、ミッキー・マウスマーチやゲゲゲの鬼太郎も予定しています。一緒に皆さんと楽しく演奏しましょう。(ウクレレ・手持ちのでも可。楽譜・資料代1,000円)	10ヶ月コース 毎月2回・全20回 第1・3日曜日 (第1回は10/2) 14:00~16:00 (24名)
15	日本の四季を楽しむ 初心者向け 和紙きりえ 山口 修一	「きりえ」とは、紙をカッターなどの刃物で切って、絵を創作するもの。「絵ごころがなくて…」「どうも絵を描くのは苦手…」という初心者の方を対象に「きりえ」の基本からはじめ、日本の四季折々の風景を色とりどりの和紙で「きりえ」を作ります。紙を切る楽しさ、作品完成時の達成感、充実感を味わってみませんか。(教材費初回~8回まで500円)	10ヶ月コース 毎月1回・全10回 第1日曜日 (第1回は10/2) 10:00~12:00 (22名)
16	はじめてのヨガ 基礎から応用まで 河野 郁江	ヨガは、心身の健康維持・増進に大変効果があります。この講座は、基本的なヨガのポーズと呼吸法、瞑想法をご指導致します。ヨガは「呼吸」が大切。自分の呼吸にあわせてゆっくり体を動かしますので無理がなく、心身調和の境地に至ります。体の硬さを気にされる方も準備体操をしっかりしますので、心配ありません。	5ヶ月コース 毎月2回・全10回 第2・4日曜日 (第1回は10/9) 10:00~12:00 (24名)
17	まだまだ 旅は終わらない ~走馬看花の旅~ 吉田 雄一	前はシルクロードを舞台に話を展開しましたが、今回はユーラシアから更に足を伸ばし、やや馴染みの薄いコーカサス、バルカン諸国見聞録を紹介します。今回は特に、テーマを持った個人旅行についての旅のノウハウもご案内します。(フリーのベテラン添乗員をお招きし、「旅のあれこれ」をお話しいただく予定です。)	10ヶ月コース 毎月1回・全10回 第2日曜日 (第1回は10/9) 14:00~16:00 (30名)

- **申込資格** 多摩地域30市町村に在住・在勤・在学の方です。  
(開講時に本人確認のため身分証明書をご提示頂くこともあります。)

- **申込方法** 記入例を参考に **通常はがき**でお申し込みください。

・はがき1枚に1講座名を記入。(2講座以上の記入は**全て無効**)  
・1人で2講座までです。(3講座以上の申し込みは**全て無効**)

- **申込期限** 7月15日(金)<当日消印有効>

・応募者が定員を超えた場合は抽選となります。  
・**抽選結果は、8月6日(土)に当選者のみ封書で発送します。**  
・募集締切後、定員に満たない場合は、追加募集します。

詳しくは多摩交流センターのHPと多摩交流センター内の掲示板でお知らせします。

- **申込先** 〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6階

- 多摩交流センター内「TAMA市民塾」

- **問合せ先** TEL 042-335-0111(月~金の9時~17時)

Eメールアドレス tama\_shimin\_juku@true.ocn.ne.jp

- **受講料** 全10回の講座 5,000円 全20回の講座 10,000円

(教材費が別途必要な講座もあります。)

・期日までに受講料を振り込みください。振込方法については抽選結果の中でお知らせします。

**振込期限 8月22日(月)**

・**振り込まれた受講料は理由を問わず返金しません。(振込期限が過ぎた場合は無効)**

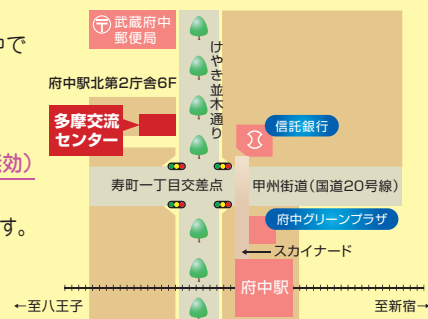
- **その他**
  - ・応募者が15名以下の場合、開講しないことがあります。
  - ・講座のカリキュラムや参考資料(作品写真)等は多摩交流センターで見ることができます。
  - ・保育施設はありません。
  - ・駐車場はありませんので車でのご来所はご遠慮ください。
  - ・個人情報、当該講座に関するごとのみに使用します。

#### ●はがき記入例

- 1 講座No.
- 2 講座名
- 3 氏名(ふりがな)
- 4 〒・住所
- 5 電話番号
- 6 年齢・性別



#### <多摩交流センター案内図>



☆ 多摩交流センターは、広域的市民ネットワーク活動の支援、市民交流の場の提供等を目的として活動しています。

## 平成23年度 多摩・島しょ地域力の向上事業助成事業

多摩・島しょ地域の市町村が実施する、地域力の向上に資する事業を支援することにより、多摩・島しょ地域全体の地域力の向上を図り、ひいては多摩・島しょの魅力を高めることを目的とした事業です。

助成対象は、「自治会・町会等地域コミュニティの活性化に資する事業」、「高齢者・子どもの見守りに資する事業」、「団塊世代の地域デビュー支援に資する事業」の3事業となります。

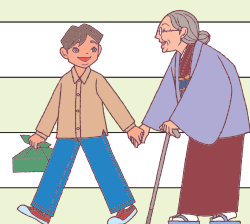
今回は、平成23年度に実施予定の事業を紹介します。

### 事業一覧

	市町村名	事業名称
1	八王子市	高尾山ボランティアガイド事業補助金
2	立川市	立川駅周辺の安全・安心推進事業
3	武蔵野市	ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス 青少年活動支援事業
4	三鷹市	コミュニティ創生をめざす地域応援プロジェクト
5	青梅市	地域で頑張る青少年支援事業 団塊世代地域デビュー事業実行委員会
		地域で頑張る青少年支援事業 青少年事業支援スタッフ育成講座
		地域で頑張る青少年支援事業 であう あそぶ 子どもの舞台芸術体験広場
		地域で頑張る青少年支援事業 青少年参加のまちづくり(まちづくりフォーラム)
		団塊世代の地域デビュー事業 遊びがつなく 地域-こども-大人
6	府中市	自治会活動ハンドブックの作成
		シニアのためのいきがいづくり支援セミナー
7	昭島市	児童センター子ども安全見守り事業
8	調布市	地域活動情報紙の発行
9	町田市	子どもの居場所づくり推進事業
10	小金井市	地域コミュニティセンター施設研究講座Ⅱ「ゼミ型講座で魅力ある空間を」
		高齢者の生きがいづくり講座
		団塊の世代地域デビュー講座
11	小平市	市民活動支援センター事業
12	日野市	自治会活動活性化支援事業
13	東村山市	自治会フォーラム
		自治会ハンドブック及び自治会パンフレット作成
		市民協働セミナー
		市民協働ハンドブック作成
14	国分寺市	防災まちづくり推進地区への支援事業
15	国立市	コミュニティガーデン運営事業
		くにたち子ども未来塾補助金交付事業



	市町村名	事業名称
16	福生市	地域コミュニティ活性化事業
17	狛江市	花いっぱいエリア創設事業
18	東大和市	自治会ハンドブック等作成事業
19	清瀬市	児童・生徒安全推進事業
		団塊世代の地域デビュー支援事業
		子守唄を通じた多世代交流事業
20	東久留米市	団塊世代の地域デビュー支援事業～東久留米うどんの楽校～
21	武蔵村山市	子ども見守り事業
22	多摩市	ヘルプゼミ「生きがいワーク事業」
		高齢者向けの携帯電話教室(地域・大学連携講座)
		子どもの安全体験教室
		薬物乱用防止講座
		地域貢献講座
		スケアードストレート
23	稲城市	地域コミュニティ活性化事業
24	羽村市	はむらふるさと祭り
25	あきる野市	あきる野市地域防災リーダー育成事業
26	西東京市	地域コミュニティ検討委員会
27	瑞穂町	町内会加入促進運動事業
28	日の出町	住民講師による生涯学習講座(浴衣着付けと料理)
		2011ひのでふるさとふれあい夏まつり補助金
29	檜原村	郷土芸能継承促進事業
30	奥多摩町	地域力の向上支援助成事業
31	大島町	地域振興・活性化事業
32	利島村	納涼花火大会助成事業
33	新島村	島民まつり2011への助成
34	神津島村	地域コミュニティ活性化事業
35	三宅村	島内映画試写会
36	御蔵島村	御蔵島村高齢者等見守り事業
37	八丈町	高齢者文化交流活動活性化事業
38	青ヶ島村	牛祭り実行委員会補助事業
39	小笠原村	世界自然遺産登録に向けた地域活性化事業







# ttt Break

tttとは  
think-tank  
tama & tosho  
を意味しています

## 外来種と呼ばないで～みんなと仲良く暮らしたいニャー～

事業部企画課 豊野 基



世界自然遺産候補地の小笠原諸島(東京都)について、世界遺産委員会(国際連合教育科学文化機関の委員会)の諮問機関である国際自然保護連合(IUCN)は、世界遺産一覧表への「記載」が適当と勧告しました。

小笠原諸島はこれまで一度も大陸と地続きになったことがなく、生物が独自の進化を遂げており、他地域では見ることのできない動植物が多数生息していることから、「東洋のガラパゴス」と呼ばれています。独自の進化を遂げた生態系の価値が世界に認められたことが、今回のIUCNからの勧告へとつながりました。一方で「東洋のガラパゴス」は、人為的な影響に非常に脆弱な生態系であり、近年は人間によって持ち込まれた外来種が急速に勢力をのばしていることから、固有の生物種の絶滅、生態系の破壊が懸念されています。IUCNからの勧告にも、外来種への対策を継続することが要請されています。今回はその外来種対策のなかで、ノネコの対策について紹介します。

小笠原村では飼い主が手放し、山の中で生きていくことを余儀なくされたネコたちが、その運動能力の高さから、いつしか野生動物の生存を脅かす存在になってしまいました。そのことを受け小笠原村では、1999年に全国初の「飼いネコ適正飼養条例」(飼い主に飼いネコの登録を義務化)が施行されました。2005年、世界自然遺産への登録を目指す小笠原諸島の父島・母島で、希少種の鳥類(アカガシラカラサバト、ハハジマメグロ、オナガミズナギドリ等)を襲うノネコの全頭捕獲作戦が始まりました。これは、環境省、林野庁、東京都、小笠原村、小笠原海運株式会社、特定非営利活動法人小笠原自然文化研究所、社団法人東京都獣医師会が連携した取り組みで、村内の関係団体による「小笠原ネコに関する連絡協議会」も設立されました。捕獲したノネコを本土に送り、人に慣れさせて飼いネコとして再出発させるという世界でも例を見ない「ノネコ更正プログラム」は、鳥もネコも殺さない外来種対策の新しいモデルであり、IUCNからは外部パートナーと連携した取り組みであることを高く評価されました。

小笠原村でのノネコ対策については、下記のとおりです。ノネコを捕獲して飼いネコにする事例としては、ヤンバルクイナ保護を目的とした沖縄県での取り組みがあります。

### ①父島、母島の山中に捕獲カゴを仕掛けてノネコを捕獲

特に前述の希少種の鳥類が営巣する地区を中心に、小笠原自然文化研究所が捕獲カゴを仕掛けます。2010年1月からは山中に捕獲カゴを仕掛けるだけでなく、80台以上のセンサーカメラを設置し、ノネコの動向をチェックしながら捕獲作業を行っています。ちなみに捕獲カゴの餌はサバ缶、唐揚げ、チクワだそうです。

### ②ねこ待合所(通称:ねこまち)での一時預かり

捕獲されたノネコを安楽死させない方向性が選択されたことにより、ノネコの収容施設が必要となり、民間の助成金を受け、山域捕獲ネコ一時飼養施設「ねこ待合所(通称:ねこまち)」が出来ました。捕獲されたノネコたちを安全に、そしてできるだけ元気な状態で本土に送るため、ねこ待合所では約7～10日間、朝夕の餌やりや寄生虫薬の投与等の健康管理を行い、この間に飼いネコでないことの確認も行います。

### ③小笠原海運によるノネコの本土への輸送

ねこ待合所で一定期間を過ごしたノネコをゲージに入れて、小笠原海運のおがさわら丸で本土に輸送します。当初は1頭につき1～2万円程度の輸送料がかかっていましたが、小笠原海運の好意で途中から輸送料は無料になりました。2011年4月6日の時点で、運ばれたノネコの数は200頭を超えました。

### ④都内動物病院での受け入れ

本土では環境省を通じて、東京都獣医師会に所属している都内の獣医師に預けられます。そこで約3カ月かけて人に慣らされ、その後、飼いネコとして里親にもまれていきます。これまでに更正出来なかったノネコはなく、捕獲したノネコは山中で寂しかったせいか、人に慣れると飼い主に深い愛情を示すそうです。東京都獣医師会に所属する開業医は約750人で47都道府県で突出して多く、東京都獣医師会では小笠原のノネコを全頭捕獲しても受け入れ先の動物病院には困らないとみており、併せて里親の募集も行っています。

### ⑤その他の取り組み

2010年4月の「飼いネコ適正飼養条例」の改正で、島内の飼いネコへのマイクロチップの埋め込みが義務化されました。また、集落での対策のひとつとして、東京都獣医師会の「小笠原動物医療団」による「小笠原動物派遣診療」があり、診察や避妊去勢手術、飼い方の指導等が行われています。「小笠原動物派遣診療」については、企業協賛により、医療機器や医薬品の無償貸与が行われています。



小笠原における外来種対策の中で、ノネコについては山域の野生化したネコだけを捕獲しても解決しません。集落地域のネコを適正に飼養し、これ以上飼い主のいないネコを増やさない取り組みが必要です。希少な動植物のすぐ近くで人間が暮らすのが小笠原であり、外来種を持ち込んだのはその人間であることを忘れず、ノネコ問題だけでなく外来種問題については、これからも継続して取り組んでいくことが求められています。



## 財団法人東京市町村自治調査会 理事会・評議員会報告

平成23年第2・3回理事会及び平成23年第2回評議員会を、5月25日(水)に東京自治会館で開催しました。その主な内容をお知らせします。

### 理事長・副理事長の選任について

役員の任期満了に伴い新たな役員12名が選任され、理事長には北川穰一昭島市長が、副理事長には坂本義次檜原村長が選任されました。

### 評議員会議長の選任について

評議員の任期満了に伴い新たな評議員28名が選出され、議長には矢野裕粕江市長が選任されました。

### 平成22年度事業報告について

平成22年度は、住民の声を活かした自治体の経営改革についての調査研究をはじめ、7本の調査研究や多摩・島しょ広域連携活動助成事業、多摩・島しょ地域力の向上事業助成事業及びみどり東京・温暖化防止プロジェクトなどの共同事業を行いました。また、広域的な市民ネットワーク活動の推進及び市民の交流を図るなどの多摩交流センター事業を実施しました。これらについては、原案のとおり承認・決定されました。

### 平成22年度一般会計及び多摩交流センター事業特別会計の収支決算報告について

収支決算報告における重要な点は次のとおり。

(1) 公益財団法人化への布石として特別会計を閉鎖し、一般会計に統合しました。

本年4月1日に調査会事務局機能と多摩交流センターを統合する組織改正を行ったことに伴い、特別会計も一般会計に統合しました。これに伴い特別会計を閉鎖し、一般会計に繰り入れる処理をしました。

(2) 一般会計において、一部科目の組み替えを行いました。

東京スタジアムなどの保有株式の会計科目を、「その他の固定資産」の「出資金」から「特定資産」(市町村共同事業資産)に組み替えました。

平成22年度の収支決算総額は、収入総額4,287,919,533円、支出総額4,303,559,090円となりました。なお、収支差額は、15,639,557円の歳入不足でしたが、繰越金を充当し対応しました。

これにより、23年度への繰越金は約1億円となり、このうち約6,700万円を23年度予算として計上しています。これらの収支決算報告については、原案のとおり承認・決定されました。

### 公益財団法人移行に係る評議員選定委員会委員の変更等について

平成24年度当初に公益財団法人へ移行するために設置した評議員選定委員会の選定委員の変更及びその選定委員会への最初の評議員候補者の推薦について、原案のとおり、承認・決定されました。

### 調査研究報告

評議員会において、平成22年度に実施した調査研究のうち、2つの調査研究の概要を報告しました。



オール東京62市区町村共同事業 みどり東京・温暖化防止プロジェクト

**各市区町村にグリーンカーテン用のタネ(ゴーヤ)を配布しました!**

オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」では、平成23年3月の東日本大震災を受け、今夏の節電対策として公共施設等にグリーンカーテンを設置することを目的に、各市区町村にグリーンカーテン用のタネ(ゴーヤ)を配布しました。

グリーンカーテンは、建物の窓などを覆って日差しを遮ることにより室温の上昇を抑えるとともに、葉の水分の蒸発散により周囲の熱を奪うため冷房効率を高める効果があります。

ゴーヤは葉がよく茂り育てやすく、グリーンカーテン用の植物として適しており、果実も食用となります。今年の夏を節電しながら涼しく、ゴーヤを食べて夏バテを防ぎ、元気に過ごしましょう。



●グリーンカーテン



●ゴーヤの果実



●ゴーヤのタネの配布袋

元気おあき

2000万 サマー ジャンボ

1等前後賞合わせて 3億円

1等:2億円 前後賞各5千万円 2等:1億円

元気いっぱい

2000万 サマー 400本

1等:2千万円×400本

元気にはひらけ! 2000万のサマー宝くじ!

2011年 7/11同時発売

発売期間 7/11 ▶ 7/29

抽せん日 8/9



2011年 市町村振興宝くじ

7/11同時発売

発売期間 7/11 ▶ 7/29  
抽せん日 8/9

この宝くじの収益金は区市町村の  
明るく住みよいまちづくりに使われます。  
公益財団法人 東京都区市町村振興協会



## 市長会から



平成23年5月25日(水)に、市長会議が開催されました。主な内容については、下記のとおりです。

## ○東京都等からの連絡事項

東京都環境局から、「今夏の電力危機に対する国の動き及び都の緊急対策」について説明がありました。

東京都は、今夏の深刻な電力不足への対応について、周辺各県とともに国に対して、電力需要抑制対策の実施を緊急提案しました。また、大口需要家や家庭などにおける節電対策などが示され、今後、東京都としての対策プログラムを策定するとともに、各市においても節電行動を普及させる広報活動の依頼がありました。

## ○平成22年度 事業報告及び一般会計歳入歳出決算について

決算内容として、主な事業は、市長会等の会議の開催や東京都の予算編成に対する要望活動を始めとする各種の要望、政策提言、多摩・島しょ広域連携活動助成事業、家具転倒防止器具助成事業などを報告しました。

主な歳入は、構成26市からの分担金、(財)東京都区市町村振興協会からの多摩・島しょ広域連携活動助成金および家具転倒防止器具助成金です。主な歳出は、家具転倒防止器具助成事業費、人件費となっています。

これらの決算額は、歳入8億5,500万円、歳出8億3,100万円であり、差引残額2,400万円は翌年度に繰り越しました。

以上について一括して審議し、承認されました。

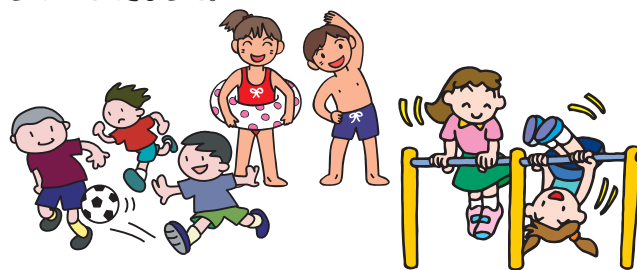
## ○(仮称)多摩・島しょスポーツ振興事業助成事業について

平成22年度に行った政策提言「多摩のスポーツ振興をめざして」を受け、平成24年度からの実施を目指して、39市町村共同の新たな助成事業として計画するものです。

スポーツを通じた子どもの体力・運動能力の向上、高齢者を含めた地域住民の健康増進や地域活性化など、市町村が実施するスポーツ振興事業を支援することを目的としています。

なお、市長会での承認後、5月30日に開催された町村会でも同事業が承認されましたので、事業化に向けて手続きを行っていきます。

※議事に入る前に、東京都福祉保健局の桜山技監から「放射線の人体に及ぼす影響」について、基礎的なお話をさせていただきました。



## お詫びと訂正のお知らせ

先月号の自治調査会ニュース「What's New?」No.274のttt Break『多摩・島しょ市町村広域行政の殿堂-35周年を迎えた東京自治会館』(8ページ)の記述中、「3. 自治会館に本館と別館がある由来」において、昭和49年11月の東京自治会館建設時点から本館と別館の区別があったように記述されておりますが、正しくは平成8年に現在の市町村職員研修所が建設されてから本館と別館の区別がなされたものです。東京自治会館建設当時は現在の本館中央玄関に「東京自治会館」、本館西側玄関に「市町村職員研修所」の入口が設置されておりました。お詫びして訂正させていただきます。

## 編集後記



今年はクールビズの期間も延長され、世を挙げて節電対策の取り組みが行われています。昨年のような猛暑は願い下げですが、冷夏でも作物等に影響が出てしまいます。気候が例え平年並みであったとしても、今夏を乗り切るには、少しでも快適に過ごすために、一人ひとりの知恵や工夫が問われるのかもしれない。この際、早寝早起きを心がけるなど、健康的な生活への転機とすることができればいいですね。(I.O)

自治調査会に配属になり、早いもので3か月。おかげさまでだいぶ仕事にも慣れてきました。「What's New?」や「多摩のかけはし」の編集をして改めて思ったことは、やはり「日本語って難しい。文章で伝えることは難しい」ということです。以前、広報で仕事をすることを思い出しながら、皆さんに分かりやすく情報を伝えていきたいと思えます。

楽しい夏までもう少し、体調に気を付けて頑張りましょう!(T.S)



# とっておき特産物

## 第2回 立川市



### 立川のトマトはすごい! ～Tachi Toma～

「立川育ち」のトマトが今年も旬を迎えています。立川トマトは、甘みが強い点を特徴とし、また直売が盛んであることから、完熟した状態で出荷することが可能で、その色あいと味で多くのファンを獲得しています。

立川市では、09年度から地元トマトの特産化事業に取り組んでおり、地元生産者21人が集結して「立川ブランドトマトP. T(プロジェクトチーム)」を設立。「立川のトマトはすごい!」をキャッチフレーズに、のぼり旗や出荷用箱、販売用袋を作ってPRしています。今年2月には、直売所マップも発行し、各農家の情報や生産品種、出荷時期も明記しています。

市内生産者の方々がこだわりをもって作った立川トマトを、ぜひ一度ご賞味ください。

### 立川みなみ農産物直売所 「みどりっ子」

立川市内には、4つの共同直売所があります。なかでも、JR立川駅南口にある「みどりっ子」は、立川市、南口中央通り商店会、JA東京みどりが連携して設立された共同直売所です。

この直売所では、立川産の新鮮な野菜の直売を通じて、市内農業者と商業者が連携して地産地消を実践。また、地域野菜を使ったブランド商品の開発及び販売等の事業を行っています。また、姉妹都市である長野県大町市のアンテナショップ「信濃大町 アルプスプラザ」も併設されています。

#### 【お問い合わせ】

東京都立川市柴崎町3-14-3

TEL:042-521-6688

(営業時間 月曜日～土曜日)

AM11:00～PM6:00)



(記事・写真提供:立川市産業振興課)

発行 (財)東京市町村自治調査会  
責任者 桑原正志  
〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1  
東京自治会館4F  
TEL 042(382)7722・0068  
ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/>